

獨協大学の各種方針

I. 理念・目的

組織	理念・目的
獨協大学	<p>(理念) 「大学は学問を通じての人間形成の場である。」</p> <p>(目的) 「教育基本法に則り学校教育法の定めるところに従って大学教育を施し、社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成することを目的とする。」</p>
外国語学部	<p>(目的) 「外国語学部は、ドイツ語、英語、または、フランス語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「外国語学部ドイツ語学科は、ドイツ語の運用能力を養成し、ドイツ語圏の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「外国語学部英語学科は、英語の運用能力を養成し、英語圏の言語・文学・文化・社会・国際関係などを理解するための専門知識を身につけた、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「外国語学部フランス語学科は、フランス語の運用能力を養成し、フランス語圏の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「外国語学部交流文化学科は、英語を中心とした外国語の運用能力を養成し、交流する文化の諸相を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p>
国際教養学部	<p>(目的) 「国際教養学部言語文化学科は、複数の外国語の運用能力を身につけるとともに、環太平洋地域を見据えた日本を含む諸地域の言語・文化・社会についての知識を習得し、さらに、日本が蓄積してきた「知」を国際社会における教養の一環として積極的に発信しうる市民を育成することを目的とする。」</p>
経済学部	<p>(目的) 「経済学部は、外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学、経営学・情報、環境学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「経済学部経済学科は、外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成を目的とする。」</p> <p>(目的) 「経済学部経営学科は、外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経営学・情報の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成</p>

獨協大学の各種方針

I. 理念・目的

	<p>を目的とする。」</p> <p>(目的) 「経済学部国際環境経済学科は、外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得したうえで、環境に対する責任と正しい認識に基づき、持続可能な社会の実現を目指して、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材の育成を目的とする。」</p>
法学部	<p>(目的) 「法学部は、外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学、および、政治学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「法学部法律学科は、外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「法学部国際関係法学科は、外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および、政治学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p> <p>(目的) 「法学部総合政策学科は、外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および、国際的な政治学、および、法学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的とする。」</p>
法学研究科	<p>(目的) 「法学研究科は、法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成することを目的とする。」</p>
外国語学研究科	<p>(目的) 「外国語学研究科は、語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成することを目的とする。」</p>
経済学研究科	<p>(目的) 「経済学研究科は、経済・経営・情報の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、経済・経営・情報の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成することを目的とする。」</p>
法務研究科	<p>(目的) 「専門職学位課程（法務研究科）は、高度の専門性が求められる職業（法曹）を担うための深い学識および卓越した能力を培うことを目的とする。」</p>

獨協大学の各種方針

Ⅱ. 教育研究組織

組織	方針
獨協大学	<p>(教育研究組織) 本学の源流である獨逸学協会学校の歴史、および本学の建学理念、教育目的、学術の進展、社会の要請などに鑑みて、教育研究組織を形成する。</p> <p>(検証体制) 各組織の教授会、委員会において、定期的、かつ自主的な検証を行う。検証の結果、学長が組織の新設、再編の必要性を認める場合は、全学的な設置準備体制を整え対応する。</p>

組織	教員組織の編成方針、および求める教員像
獨協大学	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨として、教員数、職位構成、年齢構成、男女比率、外国人教員比率の改善など、教員採用における原則を定めた「教員採用の基本方針」を毎年度策定し、大学全体で共有する。</p> <p>(求める教員像) 本学の教員に求める能力・資質等については「教員の任用および昇任に関する規程」、および関連諸規則に定められており、採用にあたっては、人格、学歴、職歴、ならびに教育研究上の業績等の内容が審査される。 大学院科目を担当する教員については、原則として本学の専任教員であり、教授または准教授であるとともに、博士号取得または同等の能力を備えていることを求める。 法務研究科（専門職大学院）においては、研究者教員についてはこれと同様の資格を必要とする一方、実務家教員については法曹資格とともに十分な実務経験を有することを求める。</p>
外国語学部	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、人事計画を踏まえ各学科が主体的に教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 大学・学部全体として掲げる教員像や規程の要件を満たし、当学部の教育・研究目的に沿う人物を求める。</p>
国際教養学部	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 法令等で定める資格、要件を満たすほか、特に専任教員については基礎演習（クラス担任を兼ねる）や演習、卒業研究を担当することから、社会人の先輩という立場からも学生を積極的に指導できる人物を求める。</p>
経済学部	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 法令等に定める資格要件を満たすほか、新しい学問的到達点を見据えて、教授する能力を維持・向上させるための専門知識の習得と、さらには学生に対して学ぶべき教育内容を指し示し、その現代的な意義を語れるだけの深い人間性・教養などを備える人物を求める。</p>

獨協大学の各種方針

Ⅲ. 教員・教員組織

<p>法学部</p>	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 法令等で定める資格要件を満たす人物であるとともに、大学全体として掲げる教員像、および学部学科の理念・目的に沿う人物であり、かつ、社会人の先輩という立場からも学生を積極的に指導できる人物を求める。</p>
<p>法学研究科</p>	<p>(教員組織の編成方針) 研究科における教育目的の達成、カリキュラムの編成、組織運営などを念頭に置きながら、専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 法令等で定める資格要件を満たす人物であるとともに、大学全体として掲げる教員像、および学部学科の理念・目的に沿う人物であり、かつ、社会人の先輩という立場からも学生を積極的に指導できる人物を求める。特に大学院担当資格を認めるにあたっては、研究指導を行うのに十分な研究歴・研究業績があることはもちろんのこと、研究者、社会人の先輩という立場から学生を積極的に指導しつつ、かつ学生に研究活動の自律を促すことのできる人物を求める。</p>
<p>外国語学研究科</p>	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 「学術の理論および応用を教授・研究し、精深な学識と研究能力を養い、また高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、もって文化の進展に寄与する」という目的に沿うかたちで、さまざまな分野で専門性の高い教員を求める。</p>
<p>経済学研究科</p>	<p>(教員組織の編成方針) 専門的知識に裏付けられる質の高い教育・研究集団を組織することを旨とし、毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従い、教員組織を編成する。</p> <p>(求める教員像) 法令等に定める資格要件を満たすほか、新しい学問的到達点を見据えて、教授する能力を維持・向上させるための専門知識の習得と、さらには学生に対して学ぶべき教育内容を指し示し、その現代的な意義を語れるだけの深い人間性・教養などを備える人物を求める。特に大学院科目を担当する教員については、原則として本学の専任教員であり、教授または准教授であるとともに、博士号取得または同等の能力を備えていることを求める。</p>
<p>法務研究科</p>	<p>(教員組織の編成方針) 毎年度確認されている「教員採用の基本方針」、ならびに「教員の任用および昇任に関する規程」に従って、必要な専任教員数を確保すること、法律基本科目の各分野に専任教員を配置することのほか、実務家教員の割合、教授の割合、年齢構成、および、教員のジェンダー構成に配慮することを組織編制の方針としている。</p> <p>(求める教員像) 研究者教員については大学院科目担当教員と同様の資格を必要とする一方、実務家教員については法曹資格とともに十分な実務経験を有することを求める。</p>

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「教育基本法に則り学校教育法の定めるところに従って大学教育を施し、社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 「教育基本法に則り学校教育法の定めるところに従って大学教育を施し、社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成すること」という教育目的に共感する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力を有し、歴史・文化・社会に関する深い教養に基礎付けられた専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを学科独自、あるいは全学的に編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを学科独自、あるいは全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 各学部学科の教育目的や特色に応じた専門知識、技能を体系的に習得できるカリキュラムを学科独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・人文科学、社会科学、自然科学などの各分野に関する深い教養を身に付けている。 ・今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	外国語学部
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「ドイツ語、英語、または、フランス語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) ドイツ語、英語、または、フランス語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) ドイツ語、英語、または、フランス語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを学部独自、あるいは全学的に編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 外国語学部の教育目的や特色に応じた専門知識、技能を体系的に習得できるカリキュラムを学科独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（外国文化）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の運用能力を身に付けている。 ・外国語圏の歴史・文化・社会に関する体系的な専門知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	外国語学部ドイツ語学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「ドイツ語の運用能力を養成し、ドイツ語圏の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 実用的なドイツ語運用能力を得たうえで、ドイツ語圏の文化・歴史・社会について深く研究しようとする高い動機を持った人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) ドイツ語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語をドイツ語と定め、ドイツ語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを独自に編成し、実施する。また、第二外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、同様のカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) ドイツ語圏の歴史・文化・社会に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（外国文化）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の運用能力を身に付けている。 ・ドイツ語圏の歴史・文化・社会に関する体系的な専門知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	外国語学部英語学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「英語の運用能力を養成し、英語圏の言語・文学・文化・社会・国際関係などを理解するための専門知識を身につけた、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) ツールとしての英語力を高めると同時に、単なる英語力向上に留まることなく、各種コースの専門知識を深めることに努める人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 英語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の言語・文学・文化・社会・国際関係を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語と定め、英語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを独自に編成し、実施する。また、第二外国語を英語以外の外国語(外国人学生は日本語)と定め、独自のカリキュラムを編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 英語圏の言語・文学・文化・社会・国際関係などに関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士(外国文化)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の運用能力を身に付けている。 ・英語圏の言語・文学・文化・社会・国際関係などに関する体系的な専門知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	外国語学部フランス語学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「フランス語の運用能力を養成し、フランス語圏の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 語学力にとどまらない教養とコミュニケーション力、およびフランスに脈々と受け継がれる文化や芸術、歴史、文学を理解したいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) フランス語の運用能力を有し、その言語を用いる地域の歴史・文化・社会を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語をフランス語と定め、フランス語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを独自に編成し、実施する。また、第二外国語を英語(外国人学生は日本語)と定め、同様のカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) フランス語圏の歴史・文化・社会に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士(外国文化)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の運用能力を身に付けている。 ・フランス語圏の歴史・文化・社会に関する体系的な専門知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	外国語学部交流文化学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「英語を中心とした外国語の運用能力を養成し、交流する文化の諸相を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 国や民族に固有のものと思われがちであった文化が、人やモノの往来によって交わり合い、また新たな文化を生み出していくという「交流する文化」をツーリズムだけでなく、国際関係論や社会学、文化人類学などの多角的な視点から学びたいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 英語を中心とした外国語の運用能力を有し、その言語を用いて、交流する文化の諸相を理解するための専門知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語と定め、英語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを独自に編成し、実施する。また、第二外国語を英語以外の外国語(外国人学生は日本語)と定め、独自のカリキュラムを編成し、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 交流する文化の諸相(ツーリズム・トランスナショナル文化・グローバル社会)に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士(外国文化)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を中心とした外国語の運用能力を身に付けている。 ・交流する文化の諸相(ツーリズム・トランスナショナル文化・グローバル社会)に関する体系的な専門知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	国際教養学部言語文化学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「複数の外国語の運用能力を身につけるとともに、環太平洋地域を見据えた日本を含む諸地域の言語・文化・社会についての知識を習得し、さらに、日本が蓄積してきた「知」を国際社会における教養の一環として積極的に発信しうる市民を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 2言語併習と8つの研究科目群の履修を通じた、国際的に通用する教養(知識、技能、判断力)の獲得により、外国の文化を知るとともに、自国のことを正しく相手に伝えたいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 複数の外国語の運用能力を身につけるとともに、環太平洋地域を見据えた日本を含む諸地域の言語・文化・社会についての知識を習得し、さらに、日本が蓄積してきた「知」を国際社会における教養の一環として積極的に発信しうる市民を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 英語と他の外国語(スペイン語・中国語・韓国語、外国人学生は日本語)を併習させ、二つの外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p> <p>(教養教育、専門教育) 教養教育と専門教育については、明確な区分や位置づけを行わず、1～4年次にかけて幅広い教養学習を可能とすることで、学生自らが体系的な専門形成を図るカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士(外国文化)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の外国語の運用能力を身に付けている。 ・環太平洋地域を見据えた日本を含む諸地域の言語・文化・社会についての知識を身に付けている。 ・日本が蓄積してきた「知」を国際社会における教養の一環として積極的に発信しうる市民としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	経済学部
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学、経営学・情報、環境学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学、経営学・情報、環境学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学、経営学・情報、環境学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学・経営学・国際環境経済学に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学、経営学・情報、環境学の専門知識を身に付けている。 ・国際的視野を有する優れた社会人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	経済学部経済学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 国際経済を読み解き、国際的なコミュニケーションを図るために必要な外国語能力と、ビジネス思考のツールとなる経済学（経済理論・総合政策・国際経済）に関する知識を体系的に養成し、将来、国際ビジネスの世界で活躍したいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成をするためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（経済学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を身に付けている。 ・国際的視野を有する優れた社会人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	経済学部経営学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経営学・情報学の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) グローバルな経営に必須とされる外国語能力と、経営学・情報（マネジメント・ビジネス・会計・情報）に関する知識を体系的に養成し、経営や情報に関するセンスを養成したいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経営学・情報の専門知識を習得した、国際的視野を有する優れた社会人の育成をするためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経営学・情報に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（経営学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経営学・情報の専門知識を身に付けている。 ・国際的視野を有する優れた社会人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	経済学部国際環境経済学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得したうえで、環境に対する責任と正しい認識に基づき、持続可能な社会の実現を目指して、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材の育成」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 国際的なコミュニケーションを図るため必要となる外国語能力を有し、近年の社会状況が要求する環境に対する責任と正しい認識に基づき、持続可能な社会の実現を目指して、地域社会や国際社会に貢献したいと考える人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、豊かな歴史観、自然観、および、倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を習得したうえで、環境に対する責任と正しい認識に基づき、持続可能な社会の実現を目指して、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学と環境学に関する体系的な専門知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（経済学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・豊かな歴史観、自然観、および倫理観を中核とする教養に基礎付けられた経済学の専門知識を身に付けている。 ・環境に対する責任と正しい認識に基づき、持続可能な社会の実現を目指して、地域社会や国際社会に貢献できる実践的な人材としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	法学部
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学、および、政治学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学、および、政治学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の高い学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および、国際的な政治学、および法学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語(外国人学生は日本語)と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および国際的な法学、および政治学に関する体系的な専門的知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満了し、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士(法学)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および国際的な法学、および政治学の専門的知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	法学部法律学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 外国語の能力、ならびに歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の高い学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた法学に関する体系的な専門的知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（法学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	法学部国際関係法学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および、政治学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および、政治学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の高い学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および、政治学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに向上させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および政治学に関する体系的な専門的知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満了し、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（法学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた国際的な法学、および政治学の知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	法学部総合政策学科
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および、国際的な政治学、および、法学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および、国際的な政治学、および、法学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 高等学校卒業程度の資格と学力を要する。科目別では外国語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の高い学力を求める。</p> <p>(入学者選抜方法) 外国語教育重視の観点から、外国語科目を重視した入試を行う。また、多彩な学生の受け入れを図るべく、一般入試をはじめとする様々な入試制度を設ける。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>(カリキュラム) 外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および、国際的な政治学、および、法学の知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成するためのカリキュラムを編成する。</p> <p>(外国語教育) 第一外国語を英語（外国人学生は日本語）と定め、外国語を「読む」「書く」「話す」「聞く」という運用能力を総合的に養成し、専門的なレベルに到達させるカリキュラムを全学的に編成し、実施する。また、第二外国語についても同様にカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>(教養教育) 主として人文科学、社会科学、自然科学の各分野に関する科目を配置したカリキュラムを全学的に編成し、実施する。</p> <p>(専門教育) 歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および国際的な政治学、および法学に関する体系的な専門的知識、技能を習得できるカリキュラムを独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得し、卒業時点で以下の能力を身に付けた者に「学士（法学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の能力を身に付けている。 ・歴史、文化、および社会に関する深い教養に基礎付けられた地域的、および国際的な政治学、および法学の知識を身に付けている。 ・国際的視野に立つ教養人としての素養を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 法学研究科 博士前期課程
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 大学卒業程度の資格と学力を有する。出身大学は問わない。</p> <p>(入学者選抜方法) 筆記、口述、または書面等により、法学・政治学の専門知識、外国語の能力を判定し、さらに志望動機、学習・研究意欲を問う入試を行う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格し、専門的研究能力、及び応用的研究能力を修得した者に「修士（法学）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行える能力を身に付けている。 ・法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 法学研究科 博士後期課程
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材となるための資質を有する人物を求める。</p> <p>(出願要件) 博士前期課程（修士課程）修了程度の資格と学力を有する。出身大学は問わない。</p> <p>(入学者選抜方法) 筆記、口述、または書面等により、法学・政治学の専門知識、外国語の能力を判定し、さらに志望動機、学習・研究意欲を問う入試を行う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格し、高度な専門的研究能力、及び特に優れた応用的研究能力を修得した者に「博士(法学)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学・政治学の分野において、総合的、専門的、また学際的な特に優れた教育・研究を行える能力を身に付けている。 ・法学・政治学の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な特に優れた学識・能力を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 外国語学研究科 博士前期課程（修士課程）
入学者受入れ方針	<p>（教育目的） 「語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。</p> <p>（求める人物像） 自立的な調査、研究、発表を通じて、外国語に関わる分野の研究者を志す人物、あるいは教員や国際機関職員等、高度の知識を持った専門家となることを志す人物を求める。</p> <p>（出願要件） 大学卒業程度の資格と学力を有する。出身大学は問わない。</p> <p>（入学者選抜方法） 筆記、口述、または書面等により、語学・文学・文化・外国語教育の専門知識、外国語の能力を判定し、さらに志望動機、学習・研究意欲を問う入試を行う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>（学位授与要件、学位の種類） 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文または特定課題研究の審査及び最終試験に合格した者に「修士（ドイツ語教育、ドイツ語学、ドイツ文学、ドイツ文化研究、ドイツ社会研究、英語学、英米文学、英語文化研究、国際関係論、コミュニケーション論、英語教育、フランス語学、フランス文学、フランス文化研究、日本語教育）」の学位を授与する。</p> <p>（学位の裏付けとなる「能力」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行う能力を身に付けている。 ・語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 外国語学研究科 博士後期課程
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 自立的な調査、研究、発表を通じて、外国語に関わる分野の研究者を志す人物、あるいは教員や国際機関職員等、高度の知識を持った専門家となることを志す人物を求める。</p> <p>(出願要件) 博士前期課程（修士課程）修了程度の資格と学力を有する。出身大学は問わない。</p> <p>(入学者選抜方法) 筆記、口述、または書面等により、語学・文学・文化・外国語教育の専門知識、外国語の能力を判定し、さらに志望動機、学習・研究意欲を問う入試を行う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受け、特に優れた高度の学問的専門性を修得したうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に「博士（ドイツ語学、ドイツ文学、ドイツ文化研究、英語学、英米文学、英語文化研究、国際関係論、フランス語学、フランス文学、フランス文化研究）」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語学・文学・文化・外国語教育分野において、総合的、専門的、また学際的な特に優れた教育・研究を行う能力を身に付けている。 ・語学・文学・文化・外国語教育の研究の発展に資するとともに、特に優れた高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 経済学研究科 博士前期課程
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「経済・経営・情報の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、経済・経営・情報の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。 博士前期課程は、経済・経営・情報分野における研究能力を高め、また公務、教育、税務、会計業務等に必要な高度の能力を養うことを教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 経済・経営・情報分野における研究能力を高めようとする人物、また公務、教育、税務、会計業務等に必要な経済・経営・情報分野における高度の能力を獲得しようとする人物を求める。</p> <p>(出願要件) 大学卒業程度の資格と学力を有する者。</p> <p>(入学者選抜方法) 書面、筆記、口述試験により、経済・経営・情報分野の専門知識、外国語運用能力、志望動機、学習・研究意欲を問う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>広汎な講義科目、専門的な演習科目及び論文執筆または特定課題研究に係る指導により、経済・経営・情報分野における研究能力を高め、また公務、教育、税務、会計業務等に必要な高度の能力を養うためのカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、以下の1) または2) に該当する者として学位論文または特定課題研究の審査及び最終試験に合格した者に「修士(経済学)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経済・経営・情報分野における研究能力を身に付けている。 2) 公務、教育、税務、会計業務等に必要な経済・経営・情報分野における高度の能力を身に付けている。

獨協大学の各種方針
IV. 教育内容・方法・成果
V. 学生の受入れ

組織	獨協大学大学院 経済学研究科 博士後期課程
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「経済・経営・情報の分野において、総合的、専門的、また学際的な教育・研究を行い、経済・経営・情報の研究の発展に資するとともに、高度の専門性を有する職業に必要な学識・能力をもった人材を養成すること」を教育目的とする。 博士後期課程は、経済・経営・情報分野において研究者として自立して教育・研究活動を行い、また公務、教育、税務、会計業務等に従事するために必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 経済・経営・情報分野において研究者として自立して教育・研究活動を行おうとする人物、また公務、教育、税務、会計業務等に従事するために必要な経済・経営・情報分野における高度の研究能力を獲得しようとする人物を求める。</p> <p>(出願要件) 大学院博士前期課程(修士課程)修了程度の資格と学力を有する者。</p> <p>(入学者選抜方法) 書面、筆記、口述試験により、経済・経営・情報分野の高度な専門知識、外国語運用能力、志望動機、学習・研究意欲を問う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>広汎かつ高度な講義科目、専門的な演習科目及び論文執筆指導により、経済・経営・情報分野において研究者として自立して教育・研究活動を行い、また公務、教育、税務、会計業務等に従事するために必要な経済・経営・情報分野における高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としたカリキュラムを編成する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、以下の能力及び学識のうち1)および3)、または2)および3)に該当する者として学位論文の審査及び最終試験に合格した者に「博士(経済学)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」および「学識」)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経済・経営・情報分野において研究者として自立して教育・研究活動を行うために必要な高度の研究能力を身に付けている。 2) 公務、教育、税務、会計業務等に従事するために必要な経済・経営・情報分野における高度の研究能力を身に付けている。 3) 以上の基礎となる豊かな学識を身に付けている。

獨協大学の各種方針
 IV. 教育内容・方法・成果
 V. 学生の受入れ

組織	獨協大学法科大学院 法務研究科 (専門職大学院)
入学者受入れ方針	<p>(教育目的) 「高度の専門性が求められる職業（法曹）を担うための深い学識および卓越した能力を培うこと」を教育目的とする。</p> <p>(求める人物像) 「地域密着型法曹」（ホームロイヤー）養成の目標達成のため、「より良い市民社会を構築するためのチャレンジ精神に溢れた、向学心・探究心旺盛な人物」を求める。</p> <p>(出願要件) 大学卒業程度の資格と学力を有する。出身大学および法学の既習・未習は問わない。</p> <p>(入学者選抜方法) 筆記、口述、または書面等により、法曹としての適性、法学の専門知識を判定し、さらに志望動機、学習・研究意欲を問う入試を行う。</p>
教育課程の編成・実施方針	<p>法理論、実務の教育・研究によって法曹界の発展に資すること、高い専門性を備えた法曹を育成することを念頭に置き、コースワーク（講義科目）を中心とするカリキュラムを研究科独自に編成し、実施する。</p>
学位授与方針	<p>(学位授与要件、学位の種類) 修業年限を満たし、所定の単位を修得した者に「法務博士(専門職)」の学位を授与する。</p> <p>(学位の裏付けとなる「能力」) ・高度の専門性が求められる職業（法曹）を担うための深い学識および卓越した能力を身に付けている。</p>

獨協大学の各種方針

VI. 学生支援

組織	方針
獨協大学	<p>(学生支援組織) 各種学生支援のために必要な組織を置き、修学支援、学生生活支援、進路支援に取り組む。</p> <p>(学修支援) 学生の履修、奨学・育英、図書その他の資料利用、学修と研究の向上、外国の大学および諸研究機関との交流（留学）等について、必要な支援に取り組む。</p> <p>(学生生活支援) 学生の厚生、健康の保持・増進、課外活動等について、必要な支援に取り組む。</p> <p>(進路支援) 学生のキャリア形成や就職等について、必要な支援に取り組む。</p>

獨協大学の各種方針
VII. 教育研究等環境

組織	方針
獨協大学	<p>(施設整備) 大学設置基準等の法令、ならびに本学の理念、教育目的を実現するため、基本計画等に基づき、適切な校地、校舎、その他の施設の整備を図る。</p> <p>(環境整備) 本学施設内においては、利用者の安全・衛生管理、防犯・防災対策に努め、さらに自然との共存調和などに配慮する。</p>

獨協大学の各種方針
Ⅷ. 社会連携・社会貢献

組織	方針
獨協大学	<p>(教育機関との連携) 他の大学や高等学校と連携して、教育研究の発展に資する取り組みを行い、社会に貢献する。</p> <p>(地域との連携) 自治体や市民と連携して、人々の生活や文化の向上に寄与する取り組みを行い、社会に貢献する。</p> <p>(海外との連携) 海外の国や地域の教育研究関係者と連携して、国際交流を促す取り組みを行い、社会に貢献する。</p>

獨協大学の各種方針
IX. 管理運営・財務

組織	方針
獨協大学	<p>(基本計画) 教職員・学生、財政、施設事業に関する基本計画を定期的に策定し、これを適切に履行する。</p> <p>(法令遵守) 教職員と学生に対しては、各種の法令、および本学の諸規程を遵守するよう求める。</p> <p>(大学運営) 教職員と学生に対しては、よりよい大学運営にむけて対話に努めながら、それぞれの使命と職責を果たすことを求める。</p> <p>(予算編成) 合理性、将来性、客観性のある予算を編成し、これを適切に執行する。</p> <p>(資産の管理運用) 保有する資産を安全に管理し、かつ効果的に運用するよう努める。</p>

獨協大学の各種方針

X. 内部質保証

組織	方針
獨協大学	<p>(自己点検・評価) 教育研究水準の向上を図り、その目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検および評価を行い、その結果を公表する。</p> <p>(情報公開・説明責任) 教育研究、財務、事業等に関する情報をわかりやすく公開する。</p> <p>(質の保証および向上) 本学の主たる利害関係者である教職員、在学生、卒業生、学生父母の各代表、およびその他の関係者と意見を交換し、本学の質の保証および向上に努める。</p>

以上